

さいたま高齢協だより

おひさま

初夏号

生活協同組合・さいたま高齢協
〒359-1103 所沢市向陽町 2001-3
TEL : 04-2941-2111
fax : 04-2941-2099
<https://saitamakoureiyou.com/>

第19回 通常総代会

記念講演：介護保険法の改正 鏡論さん

【日時】6月23日(日)9時30分～12時30分

【場所】新所沢公民館2階 学習室5・6号

- 1号議案：2023年度活動のまとめ
- 2号議案：2023年度決算と剰余金処分案
- 3号議案：2024年度活動方針と予算
- 4号議案：役員を選任について
- 5号議案：役員報酬について
- 6号議案：定款の一部変更

今日の社会はいつまで続くのか！

今日の世界の情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのガザ地区での戦闘など世界の平和の危機が続いています。また経済分野では、いわゆるG A F A（世界のビッグIT 企業4社）をはじめとする世界的企業による市場独占等により、格差が広がり貧困問題が深刻になっていま

なく、豊かさから生じている。・・・支配的知識層の存在からくる苦しみである。富はごく一握りの人々の手に集積し、社会の一般大衆は、失業、不安、従属、不信の世界に蹴落とされていく。90年前に指摘された問題は、現在とまったく同じではないでしょうか。

国内においては、能登半島地震、物価の高騰、少子高齢化、自民党の裏金問題など防災、生活防衛、福祉、民主主義の課題を抱えています。

こうした社会情勢の中で、高齢協は平和を守り、生活を防衛し、安心して暮らせる地域づくりのために、高齢者が多世代とも協

同して活動を進めていくことが求められています。高齢協連合会は、高齢協のビジョンを以下のようにまとめました。

●「高齢社会」を生きるすべての世代が共に支え合い、安心して暮らしをつづけられるまちづくりをめざす。

●ひとりひとりが社会の中で「自分らしさ」を発揮し、尊厳が守られる事業・活動を推進する。

●事業・活動を推進するために「よい仕事」を追求し、質の向上を図るとともに、社会問題と常に向き合いながら、地域に必要な事業・活動を生み出す。

■■■■ 私たち一緒に働きませんか！ ■■■■

- まあち 〒359-1103 所沢市向陽町 2001-3
訪問介護 04-2941-2755
ケアプラン 04-2941-2080
- ふれあい岩槻 〒339-0057 さいたま市
訪問介護 岩槻区本町 1-5-33
048-749-5773

私たちは「仕事」「福祉」「生きがい」活動に取り組む高齢社会を支え合うために生まれた生活協同組合です。年齢に関係なく、気軽にどなたでも協同組合に入れます。老若男女が支え合う「福祉のまちづくり」をあなたもご一緒に！
ご加入には①所定の申込書②出資金（一口千円から）が必要です。お申込み・お問い合わせ 04 (2941) 2111

第1号議案 2023年度活動のまとめ

(1)3年連続黒字を達成

今年度もコロナ、インフルエンザで、利用者やヘルパーが感染するなど厳しい状況の中、収入は前年実績を上回り、事業剰余も黒字を確保できました。介護人材確保については、紹介会社や職員の紹介を通して、所沢で5名、岩槻で2名を採用できました。

課題となっていた、就業規則、賃金規定の見直し、事業継続計画BCP(自然災害、感染症)等のマニュアル作成に取り組みました。

所沢労働基準監督署の調査があり、有給休暇の取得等の改善など指摘を受けました。また所沢年金事務所より、社会保険料の報酬月額指摘を受けました。労務問題が今後の改善課題となっています。

(2)三郷で地域福祉事業所が開設

2022年5月よりさいたま高齢協が事務局を担当する「楽しいシニアライブをめざす早稲田連絡会」は、講演会や映画会、スマホ教室を行ってききました。そして、2023年より「空き家の活用プロジェクト」で、地域福祉のための拠点づくりをめざしてきました。

2024年1月より、さいたま高

齢協が三郷市の介護予防事業・地区サロンの委託を受けることができました。空き家は、「小林さん家(ち)」として介護予防のサロン事業が始まりました。小さく産んで大きく育てていく方針です。

(3)北本地域で支部設立総会を開催

二年半の準備期間を経て2023年11月に北本支部が設立しました。



(4)所沢地域福祉事業所の事務所が 共同利用に

3年前に休止したデイサービスまあちの場所をどのように利用するか

が課題になっていました。知的障がい者の福祉事業を行うNPO法人バリアフリーアートの会・わくぼけつとから利用の申し出があり、2024年4月より入居し共同で建物を使用することになりました。

デイサービスは休止中も年間約300万円ほどの維持費(家賃負担、減価却費等)がかかっていましたが、共同利用になったことで、約200万円の費用が軽減されます。

NPO法人わくぼけつととさいたま高齢協は共に地域福祉を目的としていますので、共生社会が求められる中、今後とも定期的な協議の場を持ち活動を前進させていきたいと思えます。

(5)各部門の1年の事業活動

■ヘルパーステーションまあち
介護保険の利用者数は、平均105名、要介護・要支援はほぼ同数の割合です。

障がい者支援では、利用者数は居宅支援・同行援護を併せて平均15名ですが、全体の売上のおよそ2割になっています。同行援護の資格を持ったヘルパーも増えてきており、今後も充実させて行きます。

平成18年より続けた介護タクシー事業は、ドライバー不足・車両の老

朽化に伴い業務を終了することになりました。通院や透析の送迎等おおくの利用者にご利用いただき感謝されておりました。

課題だったサービス提供責任者を3名採用することができ、ヘルパーも3名新規採用となり、2024年度は大きな戦力になっていくと思えます。

コロナも5類に移行し日常生活が戻ってきました。しかし、高齢者のご自宅を訪問するヘルパーは、まづ自身の健康管理と予防が大切です。毎日の検温・週2回のコロナ抗原検査を現在も継続しています。5月には消防署の協力で救命救急の講座を開催しています。AEDの使い方など、実際に訓練することが出来るよう計画(BCP)も進めています。

理事・管理者 松本和子

■ケアプランまあち

新型コロナウイルスが5類に移行し日常生活は徐々に正常化しましたが医療や介護の現場での感染対策に変わりなく、利用者の感染も変わることはありません。軽症でも

高齢者にはダメージが大きく感染を機に身体機能が低下し入院や施設入所になった利用者様も少なくありません。3月以降は落ち着いてきましたが今後も気を緩めることはできず、コロナ以前の状態に戻ることは難しいと感じています。

昨年度から課題となっていたケアマネジャーの採用は叶わず、2名のケアマネジャーが週4日のパートになったことから事業規模を縮小せざるを得ない結果となりました。

ケアマネ不足は深刻で「保険あっても介護なし」という状況が現実味を帯び始めているようです。

ケアマネ不足の要因にはケアマネの高齢化とケアマネ資格保持者がケアマネ業務に就くことを望まないことにあります。ケアマネの求人倍率は4倍を超え退職したケアマネが転職してケアマネを続ける割合も非常に低いという統計もあります。現に市内の居宅介護事業所でもケアマネの退職で事業所を廃止した処もあります。

このような厳しい状況の中でも利用者様と丁寧に向き合い困難な事例もケアマネジャー3人で知恵を出し合いながら日々奮闘を続けた一年になりました。

管理者 今井直美

■ ふれあい岩槻

ふれあい岩槻2023年度を振り返ると、大変厳しい1年でした。感染症は依然として介護の現場を脅かし、異常気象による酷暑や豪雨、大雪に見舞われながらも、ヘルパー全員で毎日奮闘して参りました。

ヘルパー一人一人が介護の現場で利用者と真摯に向き合い、日々頑張った結果、大きく掲げた予算も何とかクリアできました。

2023年度は延べ85名のケアにあたりました。前年から利用者人数は減っていますが、毎日型で訪問回数が多いケースが増えています。複数のヘルパーで訪問するケースは、より細かな連携、情報の共有に努めました。

〈情報の共有〉へより良いサービスの実践〉を事業所目標に掲げて取り組み、良い結果を残しています。

下期にはマンパワーが減少し、厳しい状況が続く、サ責もフル稼働となり事務所がほとんど閉まっている状況でした。2024年は少しでも皆が集える状況にしていきたいと思えます。明るく前向きに活躍してくださるヘルパーの皆様へ感謝。

理事・管理者 大畑真理

第2号議案

2023年度 決算&剰余金処分

□□□ 損益計算書 □□□ 単位円

福祉事業収入	94,304,920
事業原価	86,080,616
本部経費	7,287,231
事業剰余	937,073
事業外損益	▲258,305
経常剰余	678,768
特別損益	▲20,430
税引前当期純利益	658,338
法人税	310,000
当期剰余金	348,338
前期繰越剰余	10,298,675
当期末処分剰余金	10,647,013

■ 決算報告

上記したように3年続けて黒字を確保することができた。ヘルパー確保の紹介料が80万円、所沢事業所の共同利用に伴う事務所移転費用68万円、社会保険料の追徴43万円など予算外の支出が約191万円が発生している。介護を担う2つの部門が、コロナ禍の厳しい環境の中、収入と剰余の確保に貢献し、ケアプランも体制縮小による収入減ながら部門単体でも剰余を確保したことが大きい。

□□□ 剰余金処分(案) □□□ 単位円

当期末処分剰余金	10,647,013
内 当期剰余金	348,338
任意積立金取崩額	0
当期処分額	
1.法定準備金	35,000
2.教育事業繰越金	17,500
次期繰越剰余金	10,612,013

■ 剰余金処分(案)

当期末処分剰余金10,647,013円を処分し、残額10,612,013円を2024年度に繰越す(教育事業繰越金を含む)。

第3号議案 2024年度 事業計画

日本の人口は、13年連続の減少となり、75歳以上の人口が2000万人を超えるなど少子高齢化が加速しています。

医療、介護の保険負担の引き上げや物価高は高齢者の今の暮らしだけではなく、将来を不安なものにしています。高齢者の暮らしにもっとも近いところで事業を行う高齢協は、社会保障制度や介護保険制度が高齢者を含めた国民の安心安全な暮らしを保証し、介護職員の地位向上につながるように全国の高齢協、及び埼玉県生協連の福祉事業を行う仲間と連携し、発信していきます。

「支えられる存在から支える存在に」「地域社会で必要とされる仕事起こし」「元気な高齢者がもっと元気に」をスローガンに高齢者が生きがいをもつて、安心して暮らせる地域づくりをめざして活動していきま

【事業活動】

(1) 福祉関連事業
・ 職場毎に自主性をもって事業活動にのぞみ、職員一人一人が経営に参画し、課題の解決をはかり、職場を守ります。

・ 人材確保への投資、働く環境整備、職場内のコミュニケーションに努めます。

・ 毎月の職場会議で、情報共有と問題の解決に当たります。

・ 居宅介護支援事業(ケアプラン)の今後対策を研究します。

■ ヘルパーステーションまあち
サービス提供責任者が5名となりより良いサービスの提供に向けて、研修会、会議等を通じて一人一人のヘルパーのスキルアップを図ります。

■ ケアプランまあち
常勤1名パート2名の体制です。事業継続にむけ柔軟な勤務体制の構築と新たな人材

確保努めます。

■ ふれあい岩槻

13名の体制になります。住宅やご家族、医療、通所などとのチームケアを強化して利用者により良い生活支えて行きます。

(2) 所沢地域福祉事業所まあちの新たな事業構想づくりを検討します。

(3) 小林さん家(ち)の発展をめざします

【組織活動】

(1) 組合員拡大・出資増資の強化の取組

・ 元気な高齢者がもっと元気になることを目標とする活動を充実させる中で、仲間を増やします。

・ 介護事業を利用する方の組合員加入を強化します。

・ 所在不明組合員の実態を明らかにし、組織の実勢を明確にします。

(2) 機関会議 略

(3) 広報活動の充実

① 組織紹介の広報媒体を作成

します。

② おひさまの編集体制を充実し、年4回発行します。

③ ホームページの定期更新をおこないます

【組合員活動】

① 三郷市早稲田地域を中心に高齢者をサポートするため「楽しいシニアライフをめざす早稲田連絡会」の事務局を担い、講演企画、イベント、映画会などを開催します。地域のニーズ、困りごとを把握し、「小林さん家(ち)」の管理運営を担い、三郷地域福祉事業所の活動と事業を推進します。

③ 北本支部の活動を本格化していきます。野菜作り、研修、視察、講演会、映画会などの取り組みを行います。

② 所沢地域では、サロンまあちを月2回開催します。NPO法人わーくぼけっと、向陽町会と協力し地域のイベントを企画します。

24年度 予算	ヘルパーステーション まあち	ケアプラン まあち	ふれあい 岩槻	三郷	本部経費	合計
事業収入	44,500	12,829	34,400	542	0	92,271
事業原価	39,857	12,680	30,101	487	7,533	90,658
剰余	4,643	149	4,299	55	▲7,533	1,613

なお、第4号議案「役員を選任について」第5号議案「役員報酬について」第6号議案「定款の一部変更」は紙面の都合で未掲載としております。